

## 法覚寺（若松開拓三十五年祭記念誌より）

「明治三十一年ノ洪水ノ結果トシテ若松神社ノ創立成リ、次デ明治三十四年五月ニ真宗大谷派ノ僧吉武是正師ヲ（一部不明）道ヲ説イテ安心ヲ得シムルニツトメ、翌三十五年三月ニハ説教所ノ認可を得テ之ヲ建設シタリ。

明治四十一年八月吉武師死去、四十三年四月其ノ父吉武融正師説教所管理者ヲ命ゼラレタルガ四十五年三月死去シタリ。茲に於テ是正師ノ相続人賢寿氏、當時修行中ナリシガ後継ヲナスコトトナリ学校卒業後大正九年七月寺号公称出願ヲナシタルニ大正十年十月十一日法覚寺と公称ノ件許可セラレタリ。

其當時ノ檀家総代ハ穴澤武夫、細川辰次郎、松田市左衛門、酒井林松、田井重太郎ナリ。大正十四年ニ本堂新築ノ議成リ、翌年二月ヨリ用材ノ伐採運搬ニ着手シテ融雪マデニ取揃エ同年十月大工濱谷文七ト工事ノ契約ヲナシ、昭和二年六月二十六日上棟式、昭和三年十二月三日入佛式ヲ举行セリ。

本堂ノ新築ノ工費及庫裏移転増築ノ工費ヲ合セテ五千八百円ニ上ル。農場事務所ヨリ同寺ニ寄付シタルモノ左ノ如シ。

一、土地 四町四反四畝 二、木材 百石 三、現金 六百円